



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年3月30日	
問い合わせ先	課名	環境事業課
	電話	直通 803-1321 内線 3966
担当者	職名・氏名	課長 岡崎 功
	職名・氏名	室長 吉田 章裕

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 自動販売機横に設置する新機能リサイクルボックスの導入について
- 2 趣 旨 岡山市では、屋外に自動販売機を設置する場合、飲料容器を回収するためのリサイクルボックスを同時に設置することを義務付けています。近年、リサイクルボックスへごみ等の異物が混入し、リサイクルボックスが溢れかえり、周辺にペットボトルなどが散乱することが問題となっており、用水路等へ落ち、河川を通じて海へ流出することが懸念されます。この度、異物が混入しにくいデザインの新機能リサイクルボックスを美化推進重点区域中心に導入し、美しく快適なまちづくりの実現と海ごみ対策を行います。
- 3 内 容 新機能リサイクルボックス（サイズ縦530cm、横398cm、高さ943cm）を美化推進重点区域を中心に400基設置します。今回配布する新機能リサイクルボックスにはナッジを用いた啓発ステッカーを貼っています（詳細は別紙参照）。
また、新機能リサイクルボックスとナッジ啓発の効果を検証するために、令和5年2月24日から3月31日まで（5週間）市内25ヶ所に設置されたリサイクルボックスで回収された内容物の組成分析調査を行っています。市内の自動販売機事業者への配布は、令和5年3月15日に完了し、従来のリサイクルボックスを新機能リサイクルボックスに5月末までに交換することとしています。

新機能リサイクルボックスの展開



(右上) 海ごみ問題 啓発ステッカー



(正面) リサイクルボックス適正利用 啓発ステッカー

○新機能リサイクルボックスとは

- ・異物投入を抑制する下向き投入口
- ・脱ゴミ箱 SDGsカラー

○ナッジ理論を活用した啓発ステッカー

- ・正面に、リサイクルボックスの正しい使い方を掲示
- ・右上に、ポイ捨てによる海ごみ問題を掲示

リサイクルボックスは資源の回収場所であることを啓発

リサイクルボックスの「異物問題」



- ・ リサイクルボックスは、清涼飲料容器の回収場所
- ・ ごみ箱と誤認した使用が常態化
- ・ 市が行っている組成分析の暫定値では、回収物の約4割、重量で約3割が異物
- ・ 主な異物は、食品容器や酒類容器、たばこ関連
- ・ リサイクルボックス周辺に、容器の散乱を誘発

環境美化のため、異物投入を抑制する啓発が必要